

プログラム概要

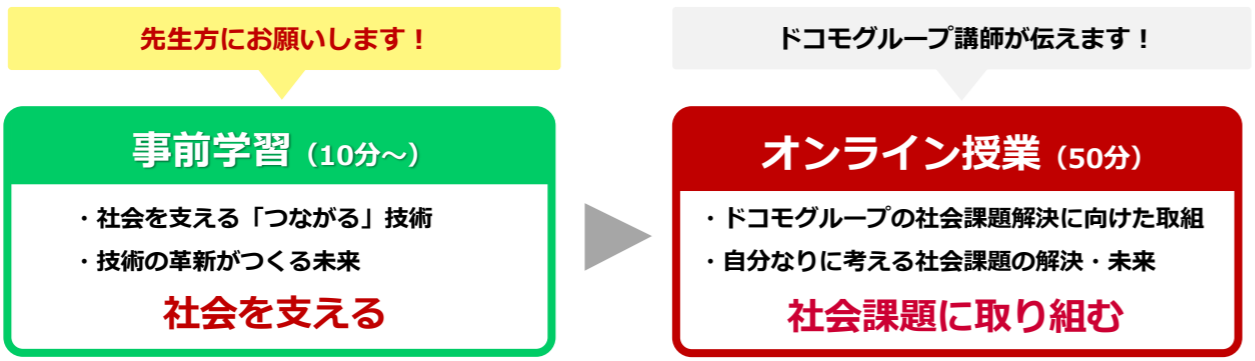
ねらい

- 未来をつくる技術** 現代社会の便利で豊かな生活は、技術によって支えられていることに気づき、その革新によって次の時代・未来がつけられていくことを知る。
- 社会課題の解決 未来を考える** 実際の「つながる」技術による社会課題解決の取組を参考に、自分なりにアイデアを考えることで、未来づくりに主体的に参画する意欲を高める。

特長



構成



事前学習 (10分〜) 先生方をお願いします！

- ねらい
- 身近な「コミュニケーション」を切り口に日常生活に目を向け、私たちの便利で豊かな社会はさまざまな技術によって支えられていることに気づく。
 - 技術が社会を支え、その革新によって次の時代・未来がつけられていくことを知る。

1 映像教材を視聴する (5分)

・私たちの日常生活の、いつでも、どこでも「つながる」あたりまえ。いったい、いつから「あたりまえ」なのでしょう。

！ ヒント… 一時停止して考えさせてもよいでしょう。

もし、スマートフォンがなかったら？

みなさんの「あたりまえ」は、どう変わってしまいますか？

もし、電話機が家の外に持ち出せなかったら？

みなさんの今の「あたりまえ」と比べて、どんなことが困ってしまいますか？

・「つながる」技術は、実は今、さまざまな社会課題に取り組むことで、現代社会の「あたりまえ」を支えています。

下記コーポレートサイトの「映像教材」から再生してください。

2 現代社会の「つながる」技術の価値に気づく (5分)

あなたが生活の中で感じる「つながる」技術があつてよかったと思うこと・便利だなと思うことは？

お願い オンライン授業で、発表してもらつた場面があります。代表発表者を**2名程度**、決めておいてください。



オンライン授業 ※詳細は、裏面をご覧ください。

コーポレートサイトのご案内

- 映像教材は、こちらから再生ください (<https://youtu.be/uAxuif92W4>)
- ドコモグループ社員のインタビューもあわせて掲載しています。ぜひ、生徒のみなさんにもご紹介ください。



ねらい

- ドコモグループの、「つながる」技術による社会課題解決に向けた取組を知る。
- 「つながる」技術という考え方で、自分なりに課題解決・未来について考える。

※以下のスライドや内容は一部を掲載しています。最新のものを紹介するため、実際の授業で伝える内容とは一部異なる場合があります。

時間	活動内容	備考
導入 5分	<p>1. 「つながる」技術で社会を支えるドコモグループ</p>  <ul style="list-style-type: none"> ドコモグループのイメージを問ひかけ、4つの事業領域で社会を支えていることを説明 ドコモグループ講師の自己紹介と、「私の仕事紹介」 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン会議システムには、講師だけでなく、事務局スタッフも入ります。
本論 15分	<p>2. 「つながる」技術で、社会課題の解決に取り組む</p> <p>● みなさんの考えを聞かせてください!</p> <p>あなたが生活の中で感じる「つながる」技術があってよかったと思うこと・便利だなと思うことは?</p>  <p>ドコモグループの事例紹介</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 離れていても「知識が伝わる」 ② モノ・データとつながることで「現状が伝わる」 ③ 新たな課題解決の可能性をもつ「感覚が伝わる」 	<p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2名程度、発表できるよう、サポートをお願いします。
ワーク 20分	<p>3. あなたなら、「つながる」でどんな未来をつくりたい?</p> <p>● 「つながる」ことで、さまざまな社会課題を解決することを説明</p> <p>● 未来に向けて、「感覚を伝える」技術で、「こんなことができたらいいな」を考える</p> <p>【グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● グループで、できるだけたくさんアイデアを出そう。 7分 ● これだ! というアイデア1つに絞り、発表できるよう準備しよう。 3分 <p>● 発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ● みなさんが考える、「感覚を伝える」技術で、「こんなことができたらいいな」は? 	<p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教室側で、ワークが円滑に進行するよう、サポートをお願いします。 ● 2グループ程度、発表できるようサポートをお願いします。
まとめ 5分	<p>4. いっしょに、未来をつくっていきましょう</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 社会課題に目を向けること、問いをもって自分なりに考えることの大切さを説明 ● ドコモグループ講師が考える「私がチャレンジしたいこと」 ● メッセージ「いっしょに、未来をつくっていきましょう」 	

先生方のご協力をお願いします!

オンライン授業のワーク

あなたなら、「つながる」でどんな未来をつくりたい?

- ドコモグループの事例紹介で知った、新たな課題解決の可能性をもつ「感覚が伝わる」という技術を活用し、未来に向けて、「こんなことができたらいいな」と思うことを自分なりに考えるワーク。

未来に向けて、「感覚を伝える」技術で、「こんなことができたらいいな」を考える

グループ 7分 グループで、できるだけたくさんアイデアを出そう。

サポートのお願い

- まずは、自由に考えさせます。
- 生徒たちが、できるだけたくさんアイデアが出せるよう声掛けをお願いします。

まずは、口に出してみよう。



とにかく、たくさんアイデアを出していこう。

グループ 3分 これだ! というアイデア1つに絞り、発表できるよう準備しよう。

サポートのお願い

- アイデアを1つに絞ります。
 - ☑ その考えが実現したら、喜ぶのは、**どんな人?**
 - ☑ 自分たちだからこそ、**オリジナルの考えは?**
- **2グループ程度**、発表できるよう準備をお願いします。

このグループのアイデアはすごい! ~の社会課題の解決につながるね!

どのグループに発表してもらおうかな?

発表



生徒用ワークシート

コラボレーション型オンライン授業のお願い

オンライン授業当日は、教室側の先生方と協働的に授業実施ができるようご協力をお願いします。

- 音声や画面共有が乱れたり、生徒への説明が不十分だったりした場合は、「もう一度お願いします!」など遠慮なくおっしゃってください。
- ワーク時間(グループ7分+3分)は、教室側の先生によるサポートが欠かせません。生徒の様子を見て、グループでの話し合いが進むよう、サポートをお願いします。
- 次に発表する生徒には、前に出て準備・待機をしてもらうなど、限られた時間に円滑に進行するよう、ご協力をお願いします。